



**学習支援**

小学校5年生で学習するミシン。ほとんどの児童が初めて体験する中、細かい作業が多く、担任1人でミシンのトラブルに対応しなければなりません。しかし、学校支援ボランティアがいれば、そういったトラブルへの対応や、教師が説明した内容を児童に徹底させることができる。



**喜びの連鎖が、  
広がっていくと信じています**

友和小学校区学校支援地域本部  
 地域教育協議会会長  
 うえがき・つかさ  
**上垣 僚さん**

「地域まるごと福祉教育推進事業」の指定を受けたことが発端となった友和小学校区学校支援地域本部は、「地域の大人たちが子どもたちを育てる。その中で大人たちも育まれる」という視点で、通学路の見守りなど、コミュニティ推進協議会と小学校が深く関わってきたという背景があります。

地域に根ざした教育環境づくりを教育現場での「支援」といった形で具現化することで、地域の子どもたちは地域で育てるという態勢づくりと、子どもたちに「生きる力」を身に付けさせることができるのではと考えています。

地域の人も児童もお互いに顔が分かり、地域の行事に参加することが楽しくなったという声をあちこちから耳にしますし、地域の人も今まで以上に学校教育に関心を持つようになりました。参観日や卒業式などへ参観・参列する人が増えたのも事実です。

子どもたちも楽しみにしていると言いますが、実はわたしたちも楽しみにしているのです。そういった喜びの連鎖が学校外でも広がっていくと信じています。

子どもたちと、学校の中や帰り道で、何度も何度も顔を合わせるにより、自然と明るいあいさつや会話が生まれることが何よりの成果だと思っています。

**子どもたちが成長するすばらしさを見ることができます**

今まで地域の中で、子どもたちと接する機会は少なかったのですが、こういった機会を与えていただいたおかげで、子どもたちの成長するすばらしさを間近で見ることができ、子どもたちからエネルギーをもらっています。

わたしたちは、「教える」のではなく、「支える」ために存在します。習字が得意

だから、習字を教えるのではなく、習字を教える先生の話が正確に子どもたちに伝わるよう支援するのが使命です。だから、得意なものがなくても、誰でもできること。多くの人が学校に興味を持ってくれたらうれしいですね。

学校へ来るときは、生き生きしているのが自分自身ではっきりと分かります。

友和小学校区学校支援地域本部  
 地域コーディネーター  
 おおののぶえ  
**大野 宣江さん**



# 友和小学校区 学校支援地域本部の取り組み

友和小学校区学校支援地域本部は平成22年5月に発足し、13年生までの低学年を中心に、図画工作・書写などの学習支援を行っています。また、16年生を対象に、生活科や総合的な学習の時間などの体験活動の支援も行っています。

そのほか、友和踊りの伝承や、地域の祭り、花いっぱい運動、通学合宿などを通して、地域の人の交流も行っています。

友和地区が、平成21年に広島県社会福祉協議会から「地域まるごと福祉教育推進事業」の指定を受けたことが発端。その目標であった「地域の人の交流を通じて、文化活動の継承や子どもの育成を図る」ことに加え、学校現場での支援によって教育環境を整え、学校と地域の双方の事業を展開しながら、子どもたちに「生きる力」を育てていくことを目標にしています。

現在では、会長と2人のコーディネーターを中心に、24人の学校支援ボランティアが活動しています。また、学校支援地域本部室を校内に設置し、コミュニティだより・学校だよりによってその活動が報告され、地域・保護者・学校との情報の共有化を図りながら、きめ細かな支援を行っています。

**子どもを中心とした活動が、地域を活性化させます**

子どもが元気になると、地域が明るくなります。子どもは学校だけ、家庭だけで育てるものではなく、地域も含めてみんなで育てようとする気持ちが大事です。

子どもは、楽しくて必死になると目の輝きが違ってきます。そういった姿を見るだけで、こちらもうれしくなりますし、大人も集まってきます。だから、スポーツや地域行事など、

いろいろな場面で、子どもたちを中心とした活動することを心掛けています。まちを歩けば、あちこちから子どもの歓声が聞こえるようにするのが理想ですね。

また、学校も地域の行事に率先して参加してくれていますので、地域にとってはうれしいことです。そういったよい相互関係がこれからも続いて欲しいと思います。



友和小学校区学校支援地域本部  
 地域コーディネーター  
 たかはし・ひろし  
**高橋 宏さん**